



校長室だより

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和4年11月29日
第33号

去る18日(金)の学習参観とPTA教養講座には、多数の保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。荻っ子たちはいつも以上にはりきって学習に取り組んでいました。

午後の教養講座はお楽しみのダンス教室でした。YOASOBIの曲に合わせての複雑

な振付も、子供たちにはなおさら面白く取り組めたようで、5限の下学年も6限

の上学年も、そして保護者の皆さんも教職員も皆で楽しくダンスタイム！講師の先生のプロ意識あふれる雰囲気にも引き込まれ、あっという間の時間でした。音楽の推進校らしい内容をと企画してくださったPTA役員の皆様に感謝します。

さて、コロナの第8波が荻生小学校にも少しずつ近付いてきているようです。先日市教委から出された文書の内容に注意し、学校と各家庭がそれぞれの立場から感染予防と早めの対応に努めていきましょう。

校長研修での内容を一部紹介します

11月は校長として(オンライン研修も含め)外部の研修会に参加する機会が数回ありました。その一部を、タイトル別に一部紹介します。

①「OECD Education2030 プロジェクトが描く教育の未来」(文科省国際戦略企画官 白井俊先生)

16日(水) 県小学校長会(県教育文化会館にて)での講演でした。

- ・世界は豊かになってきたが生活面はどうか、本当の意味での「よりよい生活」を目指そう。
- ・学校は子供たちにとってまだまだ選択肢の少ない、思いどおりにならない場所のままではないか。
- ・子供が自分の学習を先生や周囲と一緒に作っていくことはできないか。(エージェンシーの考え方)
→(教師の指示の聞き役としての)児童生徒から、能動的な参加者としての児童生徒へ

荻生小では今年度、笑顔と学びがいっぱいの学校を大人も子供も皆で一緒に創造しようと呼びかけています。やさしく(徳)・かしこく(知)・たくましく(体)、3つの視点で取り組む「アクションプラン」に高学年の子供の意見を取り入れています。ただ「自分たちの学校生活を自分たちでつくっている」という自覚は子供たちの中にまだ薄いように思います。今回の講演を聴き、授業や特別活動、学校行事、学習環境づくり等々の中に、子供に自己決定を委ねていい場面や、子供と大人が相談し合って企画・運営したり改善したりしてもよい部分がまだまだありそうな気がしました。

②「働く女性の健康 ~こころ・からだ・生き方を巡って~」(産婦人科医 富山県議会議員 種部恭子先生)

20日(日) 県公立小・中学校女性校長会全体研修会(富山市 サンフォルテにて)での講演。参加者層に合わせた内容が大半でしたが、10代の子供の妊娠や性暴力被害、性同一性障害の話もありました。

- ・日本の人口構造は大きく変化している。これからは死ぬまで自分で立って歩くことが目標となる。
- ・日本の女性の睡眠時間は特に短い。また国内では富山県の女性の睡眠時間が特に短い。つまり「富山県の女性は世界一睡眠時間が短い」と言える。頑張り過ぎず、もっと体を休めましょう。
- ・仕事とライフサイクルを考えるキャリアデザインを新入社員[教員]にこそ行うべき。また、育児は大切なキャリアの一つ。是非、男性にこそ育休をとってほしい。
- ・10代の子の性被害や関連する事件をみると、子供にとって「助けを求めている人がいること(居場所、受け皿があること)」が大切であると分かる。また、児童生徒の性暴力被害に関する教職員向け対応マニュアルが作られている。いのちの安全教育を行うことで早期発見にもつながる。

初めて知る内容が多く夢中でメモをとりました。自分自身だけでなく、職員室の先生方の健康な生き方を考えました。そして目の前の子供たちのことをこれまで以上にしっかり見つめていきたいと思えます。

このほかの研修の内容についても、別の機会に紹介できればと思っています。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

4年生「和楽器教室」市内在住の皆様に教えていただきました

22日(火)の5・6限、4年生は音楽科の民謡の学習の発展として、市教委の「和楽器教室」に参加しました。この日の先生は二本松守さんほか3名の皆さんでした。三味線や締太鼓の奏法を教



わり、全員が一通り練習できました。また、「こきりこ」の唄はこれまでの学習の成果を生かし大きな声で堂々と歌うことができ、付き添いで来校していた市教委の方も感心しておられました。



シリーズ「教室におじゃまします」11/22(火)5年家庭科の巻

5年生の家庭科は6年担任の鈴木先生が担当です。この日は時間前からテレビスイッチの切替をしていました。2人の子が慣れた様子で台に乗り操作するのを「いつもこうしてるの?」と先生が見守りました。



いよいよ授業開始です。買い物に関する学習の「商品の上手な選び方」についての続きです。物を買う際は商品の品質、機能、安全性、値段と分量、環境面への配慮等々、気を付けることがたくさんあることをまず復習しました。その後、たとえば「学校で使う筆箱」を買うときは?

ということでシミュレーションすることにしました。先生はテレビの画面に資料を映し、また黒板にポイントを整理しながら「どんな情報を知りたいですか。何をみて買いますか」と質問します。また、実際に子供の使っている筆箱を例に挙げながら個別に質問して回ります。「これ、勝手に買ってこられたからなあ」と話す子や「まず店に行って実物を見て、でもいいのがなかったらインターネットで買うときもある」というこだわり派の子も



いました。そのまましばらくは自由に相談し合う時間となり、あちこちで筆箱トークに花が咲きました。そのなんとまあ和やかなこと! 最後は教科書を参考に、今回のポイントをしっかり確認し合いました。



おまけの<ひとこと> もうすぐ11月も終わりますが、本当に今月はいろいろあった月でした。校内、校外、そして個人的な用事いろいろ…。「頑張ろう」より「楽しもう」で、「忙しい」「大変」はあまり言わない主義の私ですが、さすがに先週後半は疲れがたまりました。ということで先週の「校長室だより」はお休み。種部先生の「富山の女性はもっと休んで」の言葉を素直に受け入れることにしました。しかしそうしている間にもお便りでお伝えしたいことがたくさん生まれてくるのが学校の面白さ。子供たちと先生方の姿を見るとなんだかウズウズしてきました。充電完了、今日からまた楽しみながらこの「校長室だより」を書いていきます。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第33号への感想
年 児童名